

クラウディア (コード 3607 東証・大証1部)

業績推移(連結) (予想数値は会社発表分) 配当性向は連結ベース。単位:百万円、%、円

決算期	売上高		経常		一株当たり		配当 性向	売上高 経常利益率
		伸び率	利益	伸び率	純利益	配当		
09.8:1Q	3,740	+11.5	875	+9.9	116.7	-	-	23.4
10.8:1Q	4,072	+8.9	917	+4.8	122.3	-	-	22.5
09.8	12,811	+8.9	1,672	+17.7	209.0	40.0	19.1	13.1
10.8(予)	13,500	+5.4	1,850	+10.6	233.2	40.0	17.2	13.7

ウエディングドレスで首位

特色...ウエディングドレス首位。メーカー機能を軸に、卸売から直販(セルドレス)、レンタル、式場運営など、ブライダル・マーケットにおいて挙式・披露宴に関するすべての分野を網羅。

今期の第1四半期も増収増益に

製・商品売上などが好調...2010年8月期の第1四半期(09年9月~11月)は、製・商品売上やレンタル収入等の好調で、売上高が前年同期比8.9%増となった。製・商品売上における販売価格の下落(メンズ中心)などによって全体の売上原価率が上昇(前年同期:29.8% 今第1四半期:31%)したことから、経常利益は同4.8%増に。区分別売上高では、製・商品売上:14億8,200万円(前年同期比13.5%増) レンタル収入等:20億600万円(同12.3%増) 式場運営収入:5億8,300万円(同10%減) 製・商品売上については、「ジルスチュアート」「バービー ブライダル」など前期中の新規投入ブランドを中心に、前期末受注残が売上増に寄与した。レンタル収入等では、国内レンタル収入等は新規店の期間フル寄与や一部既存店提携先のバンケット増設効果などで前年同期比9.6%増となり、ハワイ挙式の国内販売強化によって海外レンタル収入等も同25.8%増と好調。一方、式場運営収入においては、09年4~6月における受注不振による「アイネス ヴィラノッツェ大阪」での施工組数減(今第1四半期:57組。前年同期比16.2%減)の影響が大きく、施行組数全体も184組(同8.5%減)に落ち込んだ。

10年8月期の通期は過去最高益へ

増収、2ケタ経常増益へ...通期については、期初時点での会社側の業績予想に変更なく、増収、2ケタ経常増益、過去最高経常利益となる見通しで、年間配当は40円を継続予定。通期の区分別売上見通しについては、製・商品売上:53億4,000万円(前期比4.8%増) レンタル収入等:62億4,000万円(同8.8%増) 式場運営収入:19億2,000万円(同3%減) 製・商品売上では、新ブランドでの一巡感などからホールセールが微減の見通しだが、レンタル収入等において、国内では挙式衣裳取扱増やインショップでの前期開業4店舗の通期フル寄与と新規出店(2店舗予定)効果が、また、海外では前期中にグループ化したファーストウエディングの通期貢献や下半期の新規施設「オーシャン スイート ワイキキ」開業などによるハワイ挙式事業の売上拡大が見込まれる。式場運営についても、広告など営業ツールの見直しなどによる受注力の強化を推進し、通期で挙式受注640組(同9%増)を目指す。

本レポートは、証券投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、証券の売買を勧誘する目的で作成したものではありません。株式の売買取引には、約定代金に対して手数料が必要となります。また、株式は、株価の変動により損失が生じる恐れがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなさいますようお願い致します。本レポートは各種データに基づいて作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありませんので、予めご了承下さい。なお、本レポートの著作権は西村証券に帰属しており、電子的・機械的などの方法を問わず、無断で本レポートを引用または複製、転送することを禁じます。